

2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 **穴吹興産株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 **8928** URL <https://www.anabuki.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴吹 忠嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 富岡 徹也 TEL 087-822-3567
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 2021年3月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	50,120	9.7	2,830	10.0	2,874	14.9	1,544	3.8
2020年6月期第2四半期	45,676	△1.2	2,573	△1.2	2,501	0.7	1,487	△1.6

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 1,582百万円 (3.6%) 2020年6月期第2四半期 1,528百万円 (△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	144.75	—
2020年6月期第2四半期	139.49	—

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第2四半期	118,182	28,931	24.0	2,653.53
2020年6月期	87,226	27,696	31.1	2,541.37

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 28,304百万円 2020年6月期 27,108百万円

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	45.00	—	32.50	—
2021年6月期	—	22.50	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	32.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	3.8	4,500	△21.7	4,200	△25.3	2,700	△17.8	253.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）あなぶきホームライフ株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	11,535,600株	2020年6月期	11,535,600株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	868,720株	2020年6月期	868,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	10,666,880株	2020年6月期2Q	10,666,948株

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、景気が急速に悪化していましたが、緊急事態宣言の解除後は各種活動の制限も徐々に解除され、経済活動が段階的に再開されたことにより、足下では回復の兆しも見られておりました。しかしながら、再度の感染拡大が生じており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、感染再拡大への懸念や不動産価格の高額化等、引き続き注意を要する状況ではありますが、政府による住宅取得支援制度や低金利環境により、消費者の購買意欲は堅調に推移しております。

このような状況の中で、当社グループの主力事業である分譲マンション事業におきましては、引き続き感染拡大防止のための各種対策を十分に講じ、お客様が安心してご来場いただける環境づくりや、IT技術を活用したオンライン商談により、販売活動を継続してまいりました。また、当社グループの強みであるマーケティング力を活かし、ウィズ/アフターコロナにおける新たな需要の掘り起こしや、テレワークなどの生活スタイルの転換に対応した新たな商品やサービスの開発などに取り組みました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は50,120百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益2,830百万円（同10.0%増）、経常利益2,874百万円（同14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,544百万円（同3.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンションの販売について、当第2四半期連結累計期間における新規販売開始マンションが前期に比して多かったことにより、当第2四半期連結累計期間における契約戸数は1,004戸（前年同期比30.9%増）となりました。また、当第2四半期連結累計期間における完成引渡マンションが前期に比して少なかったことにより、売上戸数は926戸（同0.4%減）となりました。なお、通期売上予定戸数1,855戸のうち、当第2四半期連結会計期間末における未契約住戸は18戸を残すだけとなっており、引き続き堅調な状況で推移いたしました。

この結果、不動産関連事業の売上高は35,241百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は2,536百万円（同24.9%増）となりました。

なお、分譲マンションにおける他社との共同事業における戸数については、当社事業割合で計算しております。

② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、女性の労働参加率の向上、海外人材の活用、障がい者の雇用支援など、中四国の労働市場の現状に即した地域経済の活力の維持・向上に必要な施策の展開により、多様な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組みました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は3,017百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は102百万円（同16.2%増）となりました。

③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力であるホテル事業及び施設運営受託事業において、利用客の減少等が続いておりましたが、移動制限の解除や経済活動が段階的に再開されたことにより、ホテルの客室稼働率の回復も見られておりました。しかしながら、再度の感染拡大が生じており、稼働率の低下や、施設利用のキャンセルが発生しております。

この結果、施設運営事業の売上高は2,073百万円（前年同期比33.0%減）、営業損失は193百万円（前年同期は営業利益129百万円）となりました。

④ 介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、引き続き、訪問看護事業の拡大に注力し、より医療依存度の高いお客様の受け入れを可能にする体制の構築を進めました。また、有料老人ホーム（介護付き・住宅型）及びサービス付き高齢者向け住宅については、2020年5月にオープンした介護付き有料老人ホーム「アルファリビング長崎大浦」（長崎県長崎市）を合わせて、33施設1,492室の運営を行っております。

この結果、介護医療関連事業の売上高は2,818百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は120百万円（同10.4%増）となりました。

⑤ 小売流通関連事業

小売流通関連事業におきましては、長崎県にて事業展開を行っているスーパーマーケット事業（14店舗）において、新商品開拓や開発の強化、また「食」と「住」を繋ぐ新しい地域創生ビジネスモデルやネットスーパー事業の構築も推進し、収益の向上を目指しました。

この結果、小売流通関連事業の売上高は4,463百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は54百万円（同128.1%増）となりました。

⑥ エネルギー関連事業

エネルギー関連事業におきましては、高圧一括受電により分譲マンション等へ割安な電力提供を行う電力提供事業において、引き続き、サービス提供戸数及び施設の拡大に注力いたしました。また、EV関連の新たなサービスの受注拡大にも取り組みました。

この結果、エネルギー関連事業の売上高は2,186百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は266百万円（同54.3%増）となりました。

⑦ 観光事業

観光事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客の減少やツアーのキャンセル等が続いておりますが、コロナ禍における新しい旅の仕組みの提供や、観光のニューノーマルに向けて、行政と連携した実証実験にも取り組みました。

この結果、観光事業の売上高は319百万円（前年同期比69.2%減）、営業損失は58百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は84,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ23,722百万円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産が15,864百万円増加したことによるものであります。固定資産は34,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,233百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が4,673百万円増加したことによるものであります。これらは主に、あなぶきホームライフ(株)（旧名称：セコムホームライフ(株)）の株式を取得し子会社化したことによるものであります。

この結果、総資産は、118,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,955百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は48,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,266百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が14,390百万円増加したことによるものであります。固定負債は41,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,453百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。これらは主に、あなぶきホームライフ(株)（旧名称：セコムホームライフ(株)）の株式を取得し子会社化したことによるものであります。

この結果、負債は、89,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ29,720百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は28,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,235百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,544百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は24.0%（前連結会計年度末は31.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月7日付「2020年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,373,701	11,751,619
受取手形及び売掛金	1,541,052	1,673,038
販売用不動産	16,076,092	17,502,265
仕掛販売用不動産	33,086,041	48,950,934
その他のたな卸資産	341,397	389,318
その他	2,920,131	3,793,176
貸倒引当金	△9,529	△9,378
流動資産合計	60,328,887	84,050,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,457,428	13,453,053
機械装置及び運搬具(純額)	447,414	419,014
土地	7,545,097	8,231,691
建設仮勘定	819,751	35,164
その他(純額)	647,211	912,451
有形固定資産合計	20,916,902	23,051,375
無形固定資産		
のれん	126,276	114,739
その他	389,436	418,612
無形固定資産合計	515,713	533,352
投資その他の資産		
投資有価証券	536,520	5,209,757
長期貸付金	1,909,650	1,953,004
繰延税金資産	711,920	885,963
その他	2,340,852	2,609,211
貸倒引当金	△33,935	△111,442
投資その他の資産合計	5,465,009	10,546,494
固定資産合計	26,897,625	34,131,221
資産合計	87,226,513	118,182,195

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,258,413	10,443,422
短期借入金	4,943,000	19,333,000
1年内償還予定の社債	1,331,000	1,922,000
1年内返済予定の長期借入金	2,201,854	2,344,774
未払法人税等	1,194,708	2,104,350
賞与引当金	630,922	639,990
前受金	6,413,030	6,723,993
訴訟損失引当金	50,000	—
その他	2,867,227	4,645,380
流動負債合計	23,890,156	48,156,912
固定負債		
社債	11,660,600	10,924,600
長期借入金	20,814,608	26,715,573
退職給付に係る負債	1,039,577	1,316,084
役員退職慰労引当金	63,286	63,286
繰延税金負債	—	92,521
その他	2,061,975	1,981,765
固定負債合計	35,640,046	41,093,830
負債合計	59,530,203	89,250,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	25,983,998	27,181,358
自己株式	△445,051	△445,051
株主資本合計	27,116,024	28,313,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,477	△8,454
その他の包括利益累計額合計	△7,477	△8,454
非支配株主持分	587,763	626,522
純資産合計	27,696,310	28,931,453
負債純資産合計	87,226,513	118,182,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	45,676,249	50,120,240
売上原価	35,530,355	39,561,436
売上総利益	10,145,894	10,558,803
販売費及び一般管理費	※ 7,572,667	※ 7,728,108
営業利益	2,573,226	2,830,694
営業外収益		
受取利息	14,429	29,742
受取配当金	5,630	4,123
受取手数料	6,352	4,861
補助金収入	125,956	222,141
その他	41,017	46,612
営業外収益合計	193,385	307,482
営業外費用		
支払利息	148,260	186,233
支払手数料	79,423	34,534
その他	37,167	43,364
営業外費用合計	264,851	264,133
経常利益	2,501,761	2,874,044
特別利益		
固定資産売却益	3,894	—
特別利益合計	3,894	—
特別損失		
固定資産除却損	234	7,063
投資有価証券評価損	20,963	4,123
和解金	—	200,000
特別損失合計	21,197	211,187
税金等調整前四半期純利益	2,484,457	2,662,856
法人税、住民税及び事業税	933,934	1,252,747
法人税等調整額	25,733	△173,614
法人税等合計	959,667	1,079,133
四半期純利益	1,524,789	1,583,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,826	39,689
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,487,963	1,544,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,524,789	1,583,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,635	△976
その他の包括利益合計	3,635	△976
四半期包括利益	1,528,424	1,582,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,491,598	1,543,057
非支配株主に係る四半期包括利益	36,826	39,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、あなぶきホームライフ(株) (旧名称：セコムホームライフ(株)) の株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、あなぶきホームライフ(株)は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書開示時におきましては、新型コロナウイルス感染症は2020年12月頃には収束に向かい始め、2022年6月期には当社グループへの影響が解消されると仮定しておりました。収束時期につきましては想定よりも長引くものと予測されますが、感染症対策を講じながら事業活動を継続していること等を踏まえ、会計上の見積りに用いた仮定に重要な変更はありません。

当該感染症の感染拡大は、当社グループの経営成績等に影響を与える可能性があり、今後の状況を注視してまいります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	29,861,808	3,057,956	3,096,068	2,555,921	4,062,666	2,005,562	1,036,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	188,201	9,817	21,602	830	4,008	23,335	4,263
計	30,050,010	3,067,774	3,117,670	2,556,751	4,066,674	2,028,897	1,040,528
セグメント利益	2,030,525	88,308	129,730	109,047	24,082	172,777	16,218

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	45,676,249	—	45,676,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	252,059	△252,059	—
計	45,928,308	△252,059	45,676,249
セグメント利益	2,570,690	2,535	2,573,226

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	35,241,893	3,017,687	2,073,024	2,818,444	4,463,757	2,186,063	319,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108,710	5,008	9,654	450	6,587	26,297	961
計	35,350,603	3,022,696	2,082,679	2,818,894	4,470,345	2,212,361	320,331
セグメント利益又は損失(△)	2,536,704	102,599	△193,754	120,393	54,934	266,638	△58,896

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	50,120,240	—	50,120,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157,670	△157,670	—
計	50,277,910	△157,670	50,120,240
セグメント利益又は損失(△)	2,828,621	2,073	2,830,694

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。